

GO GO 農大

2024
1月号

徳島県立農林水産
総合技術支援センター
農業大学校新聞

令和5年度中国四国ブロック 農業大学校等プロジェクト発表会

令和6年1月18〜19日に、岡山県で開催されました。初日は、中国四国ブロック各県の代表学生が、自ら考え、自ら実践したプロジェクト学習について、その成果とこれからの展望について発表しました。徳島農大からは、6次産業ビジネスコースの奥さん、農業生産技術コースの本津さん、全国発表が決定している研究科の赤澤さんの3名が発表し、審査の結果、上位3名（徳島農大・奥さん、山口農大・岡村さん・愛媛農大・青野さん）が2月に東京で開催される全国大会に出場することになりました。

二日目は、岡山県農林水産総合センター農業研究所を視察しました。同所では、「果物王国おかやま」を目指し、モモとブドウに加え、イチゴの県オリジナル品種の開発などに取り組んでいます。また、スマート農業機械（ロボットトラクタ、食味・収量コンバイン、可変施肥田植機）の実物を見学し、機械の大きさと圃場の広さに驚くこと

とともに、K S A S（営農支援システム）と連動した取り組みをしていると聞き、羨ましく感じました。1年次生の参加者は、今回の経験をプロジェクト学習に大いに活かしましょう。



研究科 赤澤さん



6次産業ビジネスコース 奥さん



本校代表発表者と補助者の学生たち



農業生産技術コース 本津さん



発表会出場者記念撮影

特別講義「風の時代を読む、自分だからできること」

1月29日、株式会社「いろいろ」の横石社長（本校OB）に講義をしていただきました。1年次生が受講し、地域ぐるみの6次産業化への取組やICTの活用等「いろいろ」の軌跡をおして様々なお話を拝聴しました。横石社長からは、「食へ方、機能性、欠品なく届くこと、美味しさ等、何が価値なのかを見極めて、独自の価値を発信する時代になった。」「今は、等級、階級、産地間競争の時代ではない。」とアドバイスをいただきました。

学生は、「横石さんが常日頃から心掛けているという自らが現場に立ち現状を把握する『現場』の意識はとても大切だと感じました。私も『現場』

を意識しながら生産者の抱える様々な課題を解決するために取り組んでいきたい。」と意欲的です。

卒業論文制作

1月26日の卒論提出締切を目前に、最後の追い込みに入る2年次生。

